

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp

獣医のカルテ



90



アイビー動物病院長
(射水市戸破)
宮川 慎

人は食事をした後、歯磨きをしますが、それでも虫歯になったり歯石が付いたりして歯医者さんで治療・ケアをしてもらうこともあり、口腔ケアはとても大事なことはご存じのことと思います。今回はワンちゃん、猫ちゃんの口腔ケアについて説明したいと思います。

人の口腔内のpH(酸性、アルカリ性を示す数字)は6.8〜7.0と中性ですが、飲食をすることで虫歯菌が増殖し弱酸性になって歯が溶け出し虫歯になるそうです。ワンちゃん、猫ちゃんの唾液は8〜8.5と弱アルカリ性のため虫

口腔ケア



歯石除去前の犬の歯

歯にはなりにくいのですが、歯垢にカルシウムが沈着し、歯石が付きやすくなります。何もケアしなかった場合、歯石がつく早さは人の4〜5倍とも言われています。歯石が歯根部に付着すると、歯肉と接触するため歯肉を痛めてしまいます。

環している血液内に歯周病菌が侵入し、循環器や臓器に影響を及ぼしさまざまな病気を発症する原因となります。ご家族の皆さんが小まめに確認してケアしてあげることが大切になります。

口腔ケアは歯磨きが最も有効とされていますが磨く道具もさまざまです。人用・動物用歯ブラシや歯磨きシート、タオルなどのほか、歯磨きガムなども歯垢を落とすの

こともあります。

まずは口を触られることに慣れさせることから始めましょう。抱っこしたり遊んだりしてスキンシップをとっている時に口を触れてみて、大丈夫なら歯を触って、それも大丈夫なら歯を手で擦ってみて、さらにタオルやシート、ブラシといった順に進めていけると良いでしょう。ゆっくり時間をかけて、嫌がらないように仕向けて

時間かけて慣れさせる

に一定の効果があります。

動物は歯磨きをする習慣がないので、ご家族の方であっても口の中に歯ブラシのような未知の道具を突っ込まれることを理解できません。ご家族の方が、今日から歯磨き頑張るぞーと意気込んでいきなり道具を使って磨こうとする場合によっては痛い目を見る

おびてください。磨いた直後にいつも使っている褒美を与えたり、おいしい味の付いた動物用歯磨きペーストなどを使ったり、喜ぶものを使って実施するとやりやすいと思います。ぜひ、ご家族でチャレンジしてみてください。

毎月第一土曜掲載